



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第90号

平成28(2016)年7月15日

電話:77-2030

FAX :77-6733

## もみじ・あざみ体験学習

**3年生**が、もみじ・あざみの方々と交流体験学習をしています。3年生はあぼしタイムの学習で、1年間を通して障がい者理解について学習します。

まず、学校で「しょうがい」ってどんなこと?といった学習をし、障がいについて学び始めます。

5月の石部学遠足でもみじ・あざみを見学させていただき、どのような施設であるかを学習しました。

6月からはそこで生活している方々との交流と体験活動を行います。各学級が2回ずつ交流体験をさせていただきました。子どもたちは、もみじ・あざみに行くことをとても楽しみにしていました。

「農園体験」「焼き物体験」「織物体験」「洗濯体験」の作業場に別れて作業体験をしました。大変暑い中、子どもたちは教えていただいたことを黙々と一生懸命やっていました。

初めての体験で戸惑ったり、上手く話せなかったりしていましたが、次のような感想を持ちました。

- ・「もみじあざみの方が、ぼくたちにニコニコ話をしてくれたり、自分が作ったものをしょうかいしてくれたり、文化祭で作品を作ることを教えてくれたりして、うれしかったです。」
- ・「寮生さんは、じゅんびの糸まきをとても上手だし、早いがんばっておらせるのがすごいと思いました。」

これ以外にも、寮生さんに関わったり、作業されている姿を見たりして、子どもたちはいろんなことを感じてくれたと思います。これから1年間の学習を通して「しょうがい」とは何か、自分はどんなことができるのか?「障がいのある人」も「障がいのない人」も共に生きていく方法を考えて欲しいと思います。

子どもたちが大人になった時、ふるさと石部が住みよい町になっていることを願います。



# 石部中学校区 特別支援学級交流会

6月24日(金)に今年度第1回の特別支援学級交流会が石部小学校を会場に開催されました。新しくなった体育館や校舎を見て「いいな〜。」「いい匂いがするね。」と言いながら石部南小学校、石部中学校の友だちが集まりました。

1年生以外は、昨年度からよく知っている友だちです。担任の先生方とも懐かしそうに話をする姿が見られました。色別のグループに分かれて自己紹介をした後、新しい校舎を探検するウォークラリーをしました。どのグループも新校舎に興味津々で、校舎を周りながら楽しそうにクイズを解いていました。ゴール後、追いかけて玉入れなどのゲームをして交流を終えました。次回、石部南小学校で再会するのを楽しみにして「さようなら」をしました。



## 4年生・6年生の校外学習



**4年生**は、社会科で学習している上・下水道の処理場へ見学に行きました。まず、野洲市の吉川浄水場で琵琶湖の水をどのようにしてきれいにしているかを学習し、次に草津市矢橋帰帆島にある湖南中部浄化センターで、私たちが使った後の汚れた水をどのようにしてきれいにして琵琶湖に戻しているのかを学習しました。私たちにあって無くてはならない水についての学習です。また、近畿の水瓶である琵琶湖についての学習でもあります。琵琶湖をきれいにするには、役場や会社、工場ではなく、家庭から汚れた水を流している自分たち自身であることを理解して欲しいと思います。5年生での琵琶湖学習(フローティングスクール)につながります。



**6年生**は、社会科の歴史学習で奈良の東大寺大仏殿、二月堂、三月堂等を見学し、海遊館で環境学習を行いました。奈良の大仏の大きさに驚き、建立の様子を思い浮かべながら熱心にメモを取る様子が見られました。多くの児童が大仏様の鼻の穴ぐりを経験しました。海遊館では、様々な魚たちの様子を見たり、実際に魚やエイの体に触れたりしていました。今、世界では絶滅していく生き物が多く、環境保護の大切さを学びました。

